

平成26年度

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

| | | | |
|---------------|--|----------------|------------|
| 事業所番号 | 1473601043 | 事業の開始年月日 | 平成17年10月1日 |
| | | 指定年月日 | 平成17年10月1日 |
| 法人名 | 株式会社メディカルケアシステム | | |
| 事業所名 | グループホーム ちいさな手横浜いずみ | | |
| 所在地 | (245-0018) 神奈川県横浜市泉区上飯田町1618-1 | | |
| サービス種別 定員等 | <input type="checkbox"/> 小規模多機能型居宅介護 | 登録定員 | 名 |
| | <input checked="" type="checkbox"/> 認知症対応型共同生活介護 | 通い定員 | 名 |
| | | 宿泊定員 | 名 |
| | | 定員計 | 18名 |
| | | ユニット数 | 2 ユニット |
| 自己評価作成日 | 平成26年12月1日 | 評価結果 市町村受理日 | 平成27年4月10日 |

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先 <http://www.rakuraku.or.jp/kaigo/w10/wp/Details.aspx?IGNO=ST1473601043&SVCD=320&THN0=14100>

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

ホームの建物を囲んだ植栽や花が四季を感じさせる明るい庭があります。お花の好きな御利用者様を中心になって花の植え替えを楽しんでいます。畑コーナーでは季節の野菜を植えてスタッフと御利用者様と一緒に栽培・収穫しています。また、月々の定例レクリエーションとして様々な外出・外食が行われリフレッシュされています。その他にピアノ協会・カラオケボランティアが来て下さり屋外・屋内共に多種多様なレクリエーションを楽しんでいます。

【評価機関概要(評価機関記入)】

| | | | |
|-------|-------------------------------------|---------------|------------|
| 評価機関名 | 株式会社フィールズ | | |
| 所在地 | 251-0024 神奈川県藤沢市鶴沼橋1-2-7 湘南リハウスビル4階 | | |
| 訪問調査日 | 平成27年1月9日 | 評価機関 評価決定日 | 平成27年3月26日 |

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

事業所は、相鉄線「いずみ中央駅」または小田急線「長後駅」より神奈中バスで「飯田神社前」下車1分のところ。バス停の手前からも判る日当たりの良い2ユニットの2階建ての建物です。大通りに面した門とは別に、脇道に入ったところに玄関があり、隣の駐車場は、地域の幼稚園バスの送迎場所としても提供しています。広い敷地内は庭石を配した庭園や建物の周りは利用者の散歩や遊歩道にもなっています。周囲には田や畑、鎮守の森など、まだ原風景が残っています。事業所では清潔や整理整頓、しつけ、安全を重視し、利用者がいつまでも快適な生活を送れるよう支援しています。

<優れている点>

職員の7割が3年以上の勤続者で、雇用が安定し経験豊富な職員によるサービスと更に質の向上を目指した支援に努めています。事業所は地域の定例町内会議に毎月出席し、積極的な情報交換や祭りなどの行事、防災訓練に参加しています。医療機関との連携が密で運営法人はもとより、医療機関や事業所および家族が一体となって看取りに取り組んでいます。既に多くの家族の看取りの要望を受け入れており、事例を重ねて職員のスキルアップを図っています。職員は社是や理念が明記してある「行動指針」を携帯し、ケアに迷った時は指針に立ち返り更なる質の向上を目指した支援に努めています。

<工夫点>

食事レクト称して、食事メニューとは別に利用者の希望や好みを踏まえ、行事食や特別職を利用者と職員が一緒に作って食の楽しみを支援しています。

【地域密着型サービスの外部評価項目の構成】

| 評価項目の領域 | 自己評価項目 | 外部評価項目 |
|------------------------------|---------|---------|
| I 理念に基づく運営 | 1 ~ 14 | 1 ~ 7 |
| II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | 15 ~ 22 | 8 |
| III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | 23 ~ 35 | 9 ~ 13 |
| IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | 36 ~ 55 | 14 ~ 20 |
| V アウトカム項目 | 56 ~ 68 | |

| | |
|-------|--------------------|
| 事業所名 | グループホーム ちいさな手横浜いずみ |
| ユニット名 | 1階 |

| V アウトカム項目 | | | |
|-----------|---|---|---|
| 56 | 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25) | ○ | 1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの 3, 利用者の1/3くらいの 4, ほとんど掴んでいない |
| 57 | 利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38) | ○ | 1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3, たまにある 4, ほとんどない |
| 58 | 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38) | ○ | 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない |
| 59 | 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37) | ○ | 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない |
| 60 | 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49) | ○ | 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない |
| 61 | 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31) | ○ | 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない |
| 62 | 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28) | ○ | 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない |

| | | | |
|----|--|---|--|
| 63 | 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19) | ○ | 1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3, 家族の1/3くらいと 4, ほとんどできていない |
| 64 | 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19) | ○ | 1, ほぼ毎日のように 2, 数日に1回程度ある 3, たまに 4, ほとんどない |
| 65 | 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4) | ○ | 1, 大いに増えている 2, 少しずつ増えている 3, あまり増えていない 4, 全くいない |
| 66 | 職員は、活き活きと働いている。 (参考項目：11, 12) | ○ | 1, ほぼ全ての職員が 2, 職員の2/3くらいが 3, 職員の1/3くらいが 4, ほとんどいない |
| 67 | 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。 | ○ | 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない |
| 68 | 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。 | ○ | 1, ほぼ全ての家族等が 2, 家族等の2/3くらいが 3, 家族等の1/3くらいが 4, ほとんどいない |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|-------------------|------|---|---|---|---|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| I 理念に基づく運営 | | | | | |
| 1 | 1 | ○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている | 毎朝の朝礼で理念の唱和を行っています。管理者と職員が日々の業務の中で相互協力を行って取り組んでいます。 | 開設時からの理念を事務室に掲示しています。行動規範や企業理念・介護理念を明記した名刺サイズのカードを全職員が常時携帯しています。利用者一人ひとりのニーズに応えるため、常に理念に立ち戻り日々の介護に生かしています。 | |
| 2 | 2 | ○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している | 運営推進会議を通して情報をきちんと把握し盆踊りやどんと焼きなど町内会のイベントなどの行事に積極的に参加させて頂き交流を図っています。 | 月1回、町内会の定例会に出席し、地域の行事の情報収集をしています。利用者の書初めや手作りの羽子板をどんと焼きに持参したり、節分祭や盆踊りにも参加しています。地域の人から季節の花や植木を譲り受けたり、日常的に交流しています。 | 地域の行事への参加だけでなく、運営推進会議や町内会議などを通して、事業所の行事への参加を呼びかけ、地域住民との交流をより一層図っていくことが期待されます。 |
| 3 | | ○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている | 運営推進会議・中学生体験学習を通して認知症の理解を深めて頂いています。また随時電話・来所にての相談を受けています。 | | |
| 4 | 3 | ○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている | 2ヶ月に1回の定期開催にてご利用者様へのサービス状況や取組みについて報告させて頂き、そこでの話し合いや意見を取り入れてサービス向上に繋がっています。 | 同じ町内会のグループホームと共同で、運営推進会議を行っています。町内会長・民生委員・保健活動推進委員と区役所・地域包括支援センターの職員が出席しています。事業所ごとに活動報告や意見交換をしサービス向上に活かしています。 | |
| 5 | 4 | ○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる | 月1回は書類提出を兼ね区役所の入居者担当のケースワーカーさんとの連絡・相談を密に行っています。また、ケアマネジャー連絡会に参加して情報交換を図っています。 | 区役所担当者には状況報告書や運営推進会議議事録などを持参し、協力関係を築いています。区の感染症講座・救命救急などの研修に出席したりグループホーム連絡会に出席しています。毎月2名、区の介護相談員の訪問を受け入れています。 | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項 目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|---|---|--|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 6 | 5 | ○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる | ミーティングや勉強会を通して身体拘束のないケアに取り組んでいます。施設前が交通量の多い道路で事故防止のため、ご家族様の許可を得て施錠しています。 | 「身体拘束0への手引き」「高齢者虐待防止対応マニュアル」があります。利用者のしぐさや表情、動きなどを観察し、不穏な状態を意識することで身体拘束をしないケアに取り組んでいます。安全上、大通りに面した入り口の門は施錠しています。 | |
| 7 | | ○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃されることがないように注意を払い、防止に努めている | 高齢者虐待の手引きを用いて職員には注意を払いミーティングと勉強会で毎回点検を行い虐待の防止に努めています。 | | |
| 8 | | ○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している | 管理者・スタッフ共に研修・勉強会に参加し学んだ事を定期ミーティングで報告し活用できるように支援に生かしていきます。 | | |
| 9 | | ○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている | 契約時には書類の全てを説明しています。御利用者様・御家族様の疑問点には納得のいかれるまで説明を行っています。 | | |
| 10 | 6 | ○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている | ご家族様が来訪した時に意見を伺ってその都度対応しています。日頃から電話だけでなくパソコンメールなど御家族様とのコミュニケーションを密に取っていて細かいところまで気兼ねなく言って頂ける環境作りに努力をしています。 | 家族の来所時には管理者が直接声掛けして、意見や要望が言いやすい環境づくりを心掛けています。玄関には投書箱もあります。家族の要望により、甘いジュースをカロリーの少ないお茶に変更したり、遠足の行先を再検討したりしています。 | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|-----------------------------|------|--|---|---|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 11 | 7 | ○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている | 管理者が日頃から職員の意見を聞く時間を設け、コミュニケーションを密に取る事でより良い運営に繋がるように努めています。 | 管理者は、現場でかかわっている職員に「利用者が過ごしやすい環境を作りたい」と考え、職員が思いついた時、いつでも相談や提案できる機会を設けています。食材レクの企画や散歩の時間変更など、職員の意見を反映しています。 | |
| 12 | | ○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている | OJTや情報考課表などを用いて随時話し合いの機会を設け職場環境整備に努めています。 | | |
| 13 | | ○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている | 内外での研修を行っています。訪問歯科医や看護師、実践者、管理者、マネー研修等様々な研修を行っています。 | | |
| 14 | | ○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている | カラオケボランティア・ピアノボランティア・夏祭りなどの機会を利用してホーム間交流をしています。他ホームにてフラワーアレンジメントの参加実績もあります。 | | |
| II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | | | | | |
| 15 | | ○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている | サービス開始時に不安な事や困っている事、要望等に耳を傾けて安心出来るようコミュニケーションを多く取り、安心感を提供し良い関係を作っていく努力をしています。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|--|--|--|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 16 | | ○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている | ご家族様と密にコミュニケーションを図り、ご家族様の不安、相談、要望に耳を傾け安心感を提供する事で信頼関係作りに努めています。 | | |
| 17 | | ○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている | ご本人様・ご家族様が最初に必要としている支援を見極めてご家族様と密に連携を取りながらサービスの提供と確認を行っています。 | | |
| 18 | | ○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている | 出来る事を活かせるように、また潜在能力を引き出しながらご本人様の残存能力を尊重して出来る事は職員と一緒にしながら支え合う関係を築いています。 | | |
| 19 | | ○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている | ご家族様の面会時や広報誌送付の際の添付文書、パソコンメール等で日々の様子を報告し、ご家族様と職員が一緒にご本人様を支えていく関係を築いています。 | | |
| 20 | 8 | ○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている | ご本人様のご身内の方やお友達の来訪を快くお迎えして良い関係を保てるように支援させて頂いています。面会はいつでも可能になっています。 | 家族や本人に了承を得て、来訪・電話・手紙を支援しています。知人とヒョウタンを共同で作ることを支援したり、年賀状を一緒に投函したりしています。長年通っていた陶芸教室への参加や住み慣れた自宅への外泊希望も支援しています。 | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|-----------------------------------|------|--|---|--|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 21 | | ○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている | 家事支援・レクリエーション・散歩等を通して利用者同士が関わり合えるように支援しています。1階と2階の利用者様同士の交流も行っています。 | | |
| 22 | | ○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている | 退去後もご本人様・ご家族様へのフォローが出来る支援を努めています。 | | |
| Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | | | | | |
| 23 | 9 | ○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。 | 日常の生活の中でコミュニケーションが多く取れるよう心掛けています。食事やおやつの時間はご入居者様とゆっくりお話しをしてよい関係作りに努めています。 | 家族同席の初回面談時の情報を基本に、1日1回は本人とコミュニケーションをとり、日常の会話を大切にして意向を把握しています。意思疎通が困難な場合は職員が協力して想いを汲み取っています。朝礼や個人記録ファイルからも情報を得ています。 | |
| 24 | | ○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている | 入居時にはご本人様・ご家族様にこれまでの生活環境を伺い、趣味や生きがいを尊重しながら御本人様がその人らしい人生を送れるよう努めています。 | | |
| 25 | | ○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている | 日々の生活を観察・記録し職員全員が現状の把握を共有してケアに満足されるよう努めています。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|---|---|--|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 26 | 10 | ○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映し、現状に即した介護計画を作成している | ケアプラン作成時にドクター・ナースに意見を伺い、サービス担当者会議で話し合って計画書を作成しています。 | 暫定のケアプランを作りミーティングで意見交換をし、家族・看護師・職員が参加してサービス担当者会議をしています。必要時には主治医も参加します。できることを伸ばせるようなケアプランを作成して、6か月ごとに更新作成しています。 | |
| 27 | | ○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている | 日常の様子・ケアの実践での気づきを個別に記録しカンファレンスを行い情報を共有して介護計画の見直しに活かしています。 | | |
| 28 | | ○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる | 状況・環境の変化に伴うニーズの変更に 대해서는ご本人様・ご家族様の要望を伺い随時対応させて頂いています。 | | |
| 29 | | ○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している | 町内会(毎月行われている町内の定例会議に参加)・学校行事に参加させて頂いています。地域の盆踊りに参加したり、近隣の中学校の生徒を受け入れて体験学習も行っています。 | | |
| 30 | 11 | ○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している | 月2回訪問診療、毎週の訪問看護を実施しています。また、提携クリニックのドクターがほぼ毎日各ホームを巡回して管理・スタッフ共にドクター・ナース・薬剤師と密に報告・連絡・相談を行っています。 | 全員が事業所の提携医をかかりつけ医としています。内科は月2回、歯科は週1回の往診をしています。訪問看護は毎週来ています。眼科や皮膚科などは外来で、原則家族が対応し、医療情報は処方箋などで共有しています。 | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|--|--|--|--|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 31 | | ○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している | 週1回医療連携体制担当看護師と連携を図り適切な指示を頂いています。緊急時にも適切な対応方や指示を頂いています。 | | |
| 32 | | ○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。 | 入院先のドクター・ナースに状況を伺い連絡や相談を行っています。入院中は面会対応を行っています。 | | |
| 33 | 12 | ○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域関係者と共にチームで支援に取り組んでいる | 入居時に看取りの方針をご家族様に説明させて頂き同意書を頂いています。終末期には再度確認を行いドクターやナースと連携を図り、重度化・終末期の対応をしています。 | 看取りの指針や方針は契約時に同意書を交わしています。「看取り介護の実践」など毎年研修を行っています。開設以来多くの事例を重ね、職員のスキルアップを図っています。家族や医療機関、事業所が一体となって看取りの支援に取り組んでいます。 | |
| 34 | | ○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている | 定期的に行われている泉区の救急講習に参加をしています。また看護師による勉強会も行っています。 | | |
| 35 | 13 | ○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている | 1年に2回避難訓練を行っています。御家族様・近隣の方も少数ですがご協力頂いています。また、町内会の避難訓練に参加しています。 | 防災マニュアルを備えています。夜間想定訓練も併せて年2回防災訓練を実施しています。利用者が不意に外に出た場合を想定し離設訓練も実施しています。地域の人も訓練に参加しています。乾パンや水、衛生品の3日分を備蓄をしています。 | 非常災害時に備え、各種の食事形態を想定した食料や簡易トイレなどの備蓄も期待されます。 |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|---------------------------------|------|--|---|---|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | | | | | |
| 36 | 14 | ○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている | 職員全員、マナーと言葉遣いに注意をし失礼な態度や命令口調にならないように心掛けています。書類は鍵の掛かる書庫に保管し管理しています。 | 年1回の接遇研修で周知を図っています。不適切な言葉があれば事例ごとに注意をしています。居室の内側から施錠が出来るようになっていきます。職員は身だしなみに注意し、居住空間の整理整頓と清潔をモットーに利用者の尊厳を重んじて支援しています。 | |
| 37 | | ○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている | 自己決定出来るように声掛け・見守りを行い支援しています。ご本人様の思いや希望を話しやすい雰囲気作りに気を配っています。 | | |
| 38 | | ○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | その日の体調・様子・状況を観察し御利用者様・スタッフ共にコミュニケーションを密に行い希望に沿った支援をしています。 | | |
| 39 | | ○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している | 御本人様の趣味と季節に合った衣類をご入居者様と一緒に選んで着て頂きます。近所のデパートや衣料品店への買い物レクリエーションも実施しています。 | | |
| 40 | 15 | ○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている | 調理や盛り付け、配膳・片付けをご入居者様と職員が一緒に行っています。季節やイベントに合わせて御利用者様の意向も聞いてメニューを変更して食事を楽しんで頂いています。 | 食材は献立も含めて外部委託しています。利用者の食事形態に合わせて職員が調理提供しています。食材レクと称して通常の食事メニューとは別に、利用者の好みや希望に沿った行事食、特別食を利用者と一緒に作り食の楽しみを支援しています。 | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項 目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|--|---|---|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 41 | | ○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている | スタッフ全員で食事や水分表を用いて確認しながら状況を把握し確認しながら声掛けをして支援をしています。 | | |
| 42 | | ○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている | 週1回の訪問歯科のドクターから指示を頂きながら食後の口腔ケアを行っています。ご本人様の出来ない部分を職員が援助して清潔保持に努めています。 | | |
| 43 | 16 | ○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている | 排泄確認表を用いて、ご利用者様のパターンに合わせてナース・ドクターとも相談しながら声掛けや誘導を行い自立に向けた支援をしています。 | 排泄確認表でパターンを把握してトイレ誘導しています。誘導は極力トイレ前までとし、自主排泄の支援に努めています。失禁した場合はさり気なく声掛けし、シャワー室や居室に案内して対応しています。同姓介助を基本にしています。 | |
| 44 | | ○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる | ご利用者様の体調を考慮しながらナース・ドクターと連携し水分補給や服薬調整をし適度な運動や体操の参加が出来るよう声掛けをしています。 | | |
| 45 | 17 | ○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている | ご入居者様一人週3回の実施しています。平等性の確保のため順番を決めて入浴して頂いてますが、ご入居者様の体調・希望・要望に柔軟に対応しています。 | 入浴は週3回を基本としていますが利用者の希望で柔軟に対応しています。入浴の嫌いな人には相性の合う人や声掛けの工夫などして入浴を促すようにしています。季節のゆず湯や菖蒲湯、好み入浴剤などで楽しむよう支援をしています。 | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|--|--|--|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 46 | | ○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している | ご入居者様一人一人のリズムに合わせて過ごして頂いています。 | | |
| 47 | | ○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている | 薬剤師による指導を受けながら個人記録に捺印・症状変化の記録を行っています。 | | |
| 48 | | ○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている | 今までの生活習慣を考察してご入居者様一人一人のケアプランに盛り込み体調や希望に合わせて支援させて頂いています。 | | |
| 49 | 18 | ○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している | 散歩・買い物の対応をさせて頂いています。外出・外食の行事を取り入れて動物園や植物園、水族館、回転寿司、ファミリーレストラン、ショッピングモール等気分転換を図っています。 | 天気の良い日には毎日のように、車いすの利用者も一緒に散歩に出掛けています。近くの公園や川、神社などが散歩コースとなっています。スーパーへの買い物や水族館、動物園などにはドライブを兼ねて出掛けています。 | |
| 50 | | ○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している | 買い物は頻繁に行っています。御利用者様にはお会計の際に職員がお金を渡して買い物する楽しさを味わっていただけるように支援しています。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|--|--|--|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 51 | | ○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている | ご利用者様の要望により対応しています。手紙の返事は一緒にポストに出しに行き楽しさを共有しています。 | | |
| 52 | 19 | ○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | 玄関や庭には季節の花を植え、リビングにはレクリエーションで御利用者様で作った絵画や作品を飾っています。 | 食堂兼リビングは広く、テーブルをゆったりと配置しています。終日彩光がいきわたる明るい共用空間です。ユニットごとにウッドデッキがあり外気浴やベンチでくつろぐことが出来ます。利用者の書初めやシクラメンの花で季節感を出しています。 | |
| 53 | | ○共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている | 畳室やベランダのベンチを利用して思い思いに過ごして頂けるようにしています。 | | |
| 54 | 20 | ○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている | ご本人様が使い慣れた家具や仏壇等をご持参して頂き、落ち着いた空間を提供できるように、ご入居前の環境に近いお部屋作りをしています。 | 居室にはベッドやクローゼット、エアコン、照明、カーテンが備えてあります。利用者はタンスやテレビ、椅子や写真、ぬいぐるみなど思い思いの調度品を持ち込み居心地良く過ごせるよう支援しています。 | |
| 55 | | ○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している | 手摺りの設置をしています。各居室・トイレ・風呂場には解り易いように名札を掲示しています。 | | |

| | |
|-------|--------------------|
| 事業所名 | グループホーム ちいさな手横浜いずみ |
| ユニット名 | 2階 |

| V アウトカム項目 | | | |
|-----------|---|-----------------------|---|
| 56 | 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25) | <input type="radio"/> | 1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない |
| 57 | 利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38) | <input type="radio"/> | 1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない |
| 58 | 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38) | <input type="radio"/> | 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない |
| 59 | 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37) | <input type="radio"/> | 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない |
| 60 | 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49) | <input type="radio"/> | 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない |
| 61 | 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごしている。 (参考項目：30, 31) | <input type="radio"/> | 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない |
| 62 | 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている。 (参考項目：28) | <input type="radio"/> | 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない |

| | | | |
|----|--|-----------------------|--|
| 63 | 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19) | <input type="radio"/> | 1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない |
| 64 | 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19) | <input type="radio"/> | 1, ほぼ毎日のように 2, 数日に1回程度ある 3. たまに 4. ほとんどない |
| 65 | 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4) | <input type="radio"/> | 1, 大いに増えている 2, 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない |
| 66 | 職員は、活き活きと働いている。 (参考項目：11, 12) | <input type="radio"/> | 1, ほぼ全ての職員が 2, 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない |
| 67 | 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。 | <input type="radio"/> | 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない |
| 68 | 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。 | <input type="radio"/> | 1, ほぼ全ての家族等が 2, 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどいない |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|-------------------|------|--|---|------|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| I 理念に基づく運営 | | | | | |
| 1 | 1 | ○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている | 管理者と職員が朝礼やミーティング、日常業務の中で報告・連絡・相談を密に行って取り組んでいます。 | | |
| 2 | 2 | ○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している | 運営推進会議に参加して情報をきちんと把握し町内会の行事に積極的に参加させて頂き交流を図っています。 | | |
| 3 | | ○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている | 地域の方に認知症理解をして頂けるよう町内会を通してパンフレットを配って頂いています。 | | |
| 4 | 3 | ○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている | ホームでの活動内容を報告させて頂き、委員の方からの意見を聞かせて頂きサービス向上に繋がっています。 | | |
| 5 | 4 | ○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる | ケアマネージャー連絡会に参加して情報交換を図っています。区役所へは随時相談・報告をさせて頂いています。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|---|---|------|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 6 | 5 | ○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる | 身体拘束のないケアに取り組んでいます。施設前が交通量の多い道路で事故防止のため、ご家族様の許可を得て施錠しています。 | | |
| 7 | | ○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃されることがないように注意を払い、防止に努めている | 高齢者虐待の手引き・マニュアルを用いて職員には注意を払いミーティング・朝礼で毎回点検を行い虐待の防止に努めています。 | | |
| 8 | | ○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している | 研修に参加し学んだ事をミーティング等で報告して活用し共有することで支援に活かしています。 | | |
| 9 | | ○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている | 契約時には書類の全てを説明して疑問点には納得のいかれるまで説明を行っています。 | | |
| 10 | 6 | ○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている | 玄関にご家族様意見箱を設置しています。ご家族様が来訪された時に直接意見を聞くことが多く、随時対応をさせて頂いています。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|-----------------------------|------|--|--|------|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 11 | 7 | ○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている | ミーティングや個別のカンファレンスで話し合い随時意見交換を行っています。 | | |
| 12 | | ○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている | ○J Tや情報考課表などを用いて随時話し合いの機会を設けています。 | | |
| 13 | | ○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている | 内外での研修を行っています。訪問歯科医や看護師、実践者、管理者研修等様々な研修を行っています。 | | |
| 14 | | ○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている | フラワーアレンジメント・ピアノボランティア・夏祭りなどの機会を利用してホーム間交流をしています。 | | |
| II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | | | | | |
| 15 | | ○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている | サービス開始時に不安なこと困っている事、要望等に耳を傾けて安心出来るよう食事やおやつの時間に多くのコミュニケーションを取り良い関係を作っていく努力をしています。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|--|--|------|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 16 | | ○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている | ご本人様ときちんと向き合いながら、ご家族様とコミュニケーションを図り、ご家族様の不安、相談、要望に耳を傾け信頼関係作りに努めています。 | | |
| 17 | | ○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている | ケアマネージャーのアドバイスを受けて、ご本人様・ご家族様が最初に必要としている支援を見極めてご家族様と連携を取りながらサービスの提供を行っています。 | | |
| 18 | | ○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている | ご本人様の残存能力を考慮し尊重して出来る事は職員と一緒にいき、寄り添いながら支え合う関係を築いています。 | | |
| 19 | | ○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている | ご家族様の面会時や広報誌送付の際の添付文書・写真等で日々の様子を報告し、ご家族様と職員と一緒にご本人様を支えていく関係を築いています。 | | |
| 20 | 8 | ○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている | ご本人様のご身内の方やお友達の来訪を快くお迎えして、面会・電話・手紙などで入居後も関係を築いています。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|-----------------------------------|------|--|---|------|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 21 | | ○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている | 家事支援・レクリエーション・散歩等を通して利用者同士が関わり合えるように支援しています。 | | |
| 22 | | ○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている | 退去後もご本人様・ご家族様へのフォローが出来る支援を努めています。 | | |
| Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | | | | | |
| 23 | 9 | ○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。 | 日常生活の中でコミュニケーションが多く取れるよう心掛けています。意思疎通が困難な方はその人の要望に出来る限り近づきケアプランへの反映・見直しをしています。 | | |
| 24 | | ○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている | 入居時にはご本人様・ご家族様にこれまでの生活環境を伺ってその人らしい生活が送れるよう努めています。 | | |
| 25 | | ○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている | 日々の生活を観察・記録し問題点が生じたらその都度職員で話し合いケアマネージャーに相談し対応しています。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|---|---|------|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 26 | 10 | ○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映し、現状に即した介護計画を作成している | ケアプラン作成時にドクター・ナースにアドバイスを伺い、サービス担当者会議で話し合っって計画書を作成しています。 | | |
| 27 | | ○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている | 日常の様子・ケアの実践での気づきを個別に記録しカンファレンスを行い情報を共有して介護計画の見直しに活かしています。 | | |
| 28 | | ○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる | ご本人様・ご家族様の要望を伺い随時対応させて頂いています。 | | |
| 29 | | ○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している | 町内会(毎月行われている町内の定例会議に参加)・学校行事に参加させて頂いています。近隣の中学校の生徒を受け入れて体験学習も行っています。地域の盆踊りも参加しています。 | | |
| 30 | 11 | ○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している | 月2回訪問診療を実施しています。ドクター・ナース・薬剤師と密に報告・連絡・相談を行っています。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|--|--|------|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 31 | | ○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している | 週1回医療連携体制担当看護師と連携を図り適切な指示を頂いています。オンコール体制も整っています。 | | |
| 32 | | ○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。 | 入院先のドクター・ナースに状況を伺い連絡や相談を行っています。入院中は面会対応を行っています。 | | |
| 33 | 12 | ○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる | 入居時に看取りの方針をご家族様に説明させて頂き同意書を頂いています。終末期には再度確認を行いドクターやナースと連携を図り、重度化・終末期の対応をしています。 | | |
| 34 | | ○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている | 定期的に行われている横浜市の救急講習に参加をしています。また看護師による勉強会も行っています。 | | |
| 35 | 13 | ○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている | 1年に2回避難訓練を行っています。また、町内会の避難訓練に参加しています。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|---------------------------------|------|--|---|------|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | | | | | |
| 36 | 14 | ○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている | 職員全員、言葉遣いに注意をし命令口調にならないように優しいケアを心掛けています。書類は鍵の掛かる書庫に保管し管理しています。 | | |
| 37 | | ○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている | 自己決定出来るように声掛け・見守りを行い支援しています。ご本人様の思いや希望を話しやすい雰囲気作りに気を配っています。 | | |
| 38 | | ○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | その日の体調・様子・状況を観察しながら希望に沿った支援をしています。 | | |
| 39 | | ○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している | 季節に合った衣類をご入居者様と一緒に選んで着て頂いてます。買い物レクリエーションも実施しています。2ヶ月に1度訪問理容を依頼して整容の支援を行っています。 | | |
| 40 | 15 | ○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている | 調理や盛り付け、配膳・片付けをご入居者様と職員と一緒にしています。季節やイベントに合わせてメニューを変更した食材レクリエーションも楽しんで頂いています。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|--|--|------|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 41 | | ○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている | 毎日記録している食事や水分表を用いて確認しながら状況を把握し確認しながら声掛けをして支援をしています。 | | |
| 42 | | ○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている | 訪問歯科のドクターから指示を頂きながら食後の口腔ケアを行っています。ご本人様の出来ない部分を職員が援助して清潔保持に努めています。 | | |
| 43 | 16 | ○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている | 毎日記録している排泄確認表を用いて、ご利用者様のパターンに合わせて声掛けや誘導を行い自立に向けた支援をしています。 | | |
| 44 | | ○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる | ご利用者様の体調を考慮しながら水分補給や服薬調整をし適度な運動や体操の参加が出来るよう声掛けをしています。 | | |
| 45 | 17 | ○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている | ご入居者様一人週3回の入浴を実施しています。平等性の確保のため順番を決めて入浴して頂いてますが、ご入居者様の体調・希望・要望に柔軟に対応しています。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|--|---|------|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 46 | | ○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している | ご入居者様一人一人のリズムに合わせて過ごして頂いてます。昼夜逆転しないように注意して気配りしています。 | | |
| 47 | | ○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている | 薬剤師による指導を受けながら個人記録に捺印・症状変化の記録を行っています。 | | |
| 48 | | ○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている | ご入居者様一人一人のケアプランに盛り込み体調や希望に合わせて支援させて頂いてます。 | | |
| 49 | 18 | ○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している | 散歩・買い物の対応をさせて頂いてます。外出・外食の行事を取り入れて動物園や植物園、回転寿司・ファミリーレストラン等気分転換を図っています。 | | |
| 50 | | ○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している | 買い物は頻繁に行っています。お会計の際に職員がお金を渡して買い物する楽しさを味わっていただけるように支援しています。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|--|---|------|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 51 | | ○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている | ご利用者様の要望により対応しています。手紙は書いた御利用者様と一緒にポストに投函しています。 | | |
| 52 | 19 | ○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | 玄関や庭には季節の花を植え、リビングにはレクリエーションで作った絵画やちぎり絵を飾っています。 | | |
| 53 | | ○共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている | 畳室やベランダのベンチを利用して寛いで頂けるようにしています。 | | |
| 54 | 20 | ○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている | ご本人様が使い慣れた家具や馴染みの物をご持参して頂き、落ち着いて過ごせるよう、ご入居前の環境に近いお部屋作りをしています。 | | |
| 55 | | ○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している | 手摺りの設置をしています。各居室・トイレ・風呂場には解り易いように名札を掲示しています。 | | |

平成26年度

目標達成計画

事業所名 グループホームちいさな手 横浜いずみ

作成日： 平成 27 年 4 月 3 日

| 優先順位 | 項目番号 | 現状における問題点、課題 | 目標 | 目標達成に向けた具体的な取り組み内容 | 目標達成に要する期間 |
|------|------|---|---|---|------------|
| 1 | 2 | 町内行事には参加をしているが運営推進委員会・町内会議を通して地域住民にホーム内行事に参加を促されていない。 | より多くの方にホーム行事に参加して頂きいざという時のために協力体制を構築していく。 | 運営推進会議・中村町内会定例会を通してホームの行事を知らせていく。町内の方から日曜など日程を合わせて下されば参加できるという意見を頂いたので調整していく。 | 6ヶ月 |
| 2 | 35 | 非常災害時の食料がすぐ出せない・簡易トイレがない | 簡易トイレは購入して、スタッフ全員で災害時の非常食・非常トイレの場所の周知を図る | 1階倉庫に災害時備蓄コーナーを設けてスタッフ全員に周知を図る | 6ヶ月 |
| 3 | | | | | ヶ月 |
| 4 | | | | | ヶ月 |
| 5 | | | | | ヶ月 |